

下着姿だってダンディー 白洲次郎@山形蔵王

未公開プライベート写真見つかるとは嬉しい」としている。



暖炉前のソファでたばこを吸ってくつろぐ白洲次郎＝1958～59年ごろ、山形市の蔵王温泉（白井久士さん提供）

戦後、吉田茂元首相の側近として活躍した実業家白洲次郎が東北電力会長時代（1951～59年）に、山形市の蔵王温泉でスキーを楽しむためゲレンデ近くに建てた山荘「ヒュッテ・ヤレン」で撮られた未公開のプライベート写真47枚が見つかった。

東北電力会長時代 山荘でスキー楽しむ

別の一面を覗かせている。白洲の資料を集めている武相荘旧白洲邸、でたばこを吹かすショットもあり、ダンディーで知られた白洲の、私的な写真が一般で見つかるのは嬉しい」としている。写真はずべてモノクロで、白洲と交流のあった白井次郎さん（故人）が58、59年に撮影、アルバムに残していた。山荘の保存活動に取り組みNPO法人「元気・まちなネット」（東京都豊田区）が白井



仲間と将棋を指す白洲次郎（右）＝同

さんの息子の久士さん（50）＝静岡県静岡市）より連絡を受け、焼き増したものを譲り受けた。写真は、白洲と仲間が山荘で写っているものが22枚、スキー場で撮ったものが14枚、蔵王温泉の風景などが11枚。山荘は白洲が手放した後、改装され当時の状態が分かっていなかったが、写真には内部が写ったものもあり、今回新たに内装なども判明した。元気・まちなネットの矢口正哉代表は「当時では珍しいホームバーが据え付けられるなど、



史的に意味のある建物だと分かった。保存活動に弾みがつく」と話している。同ネットは10月20日に山形市でシンポジウムを開き、写真を展示公開する予定。連絡先は同ネット03（0）2222（0）4001。

—— 肩の力抜けた姿も格好いい ——

「白洲次郎 古顔を背負った男」の著書がある作家北康利氏の話 蔵王温泉の山荘で白洲次郎が写っている写真はこれまで見たことがない。白洲がゴルフと同じくらい愛していたのがスキーだった。肩の力が抜けた彼の姿も、なかなか格好いい。

山荘「ヒュッテ・ヤレン」前でスキー仲間と遊ぶ白洲次郎（右から2人目）＝同